

ベビーミルク支援へのご理解、ご協力をお願い

メディア関係者 各位様

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、早速ではございますが、ベビーミルクやベビー用品の支援の課題と現状について説明させていただきます

ベビーミルクやベビー用品は、乳幼児のいる世帯にとって大きなウェイトを占めていますが、優先していても、どうしても購入が厳しい世帯では薄めて飲ませる、代用品を薄めて飲ませる選択肢しか残っていませんでした。

3年前より、那覇市社会福祉協議会さんに於いて個人的に始めたベビーミルク支援を、コロナ禍で急増する困窮世帯への支援とする為に、令和2年4月1日にボランティア団体として立ち上げ、支援の対象範囲は、現在では沖縄本島内全域に拡充しています。

連携機関のご協力の元、沖縄県内では20か所の行政機関、事業所等のご協力を受けて昨年は寄贈を含めて567缶の支援となりました。

特に那覇市では、連携機関としてご協力を頂いております那覇市社会福祉協議会さんへの訪問に際してバス賃の支払いを躊躇する家庭も多く、個別対応を一年半弱続けて参りました。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解の上、周知、ご理解へのご協力を賜りたく、ここにお願い申し上げます次第でございます。

なお、支援内容につきましては、下記のとおりとさせて頂いております。

敬具

記

対 象：月齢0～18か月を目安に 離乳までのベビーのいる世帯

期 間：ひと世帯、月に1回 3か月を目安に個別で検討(個別の状況により継続あり)

問い合わせ：(担当課)各市町村 社協・母子会・子ども食堂・居場所等

(その他)共育ステーションつむぎ 事務局へ直接連絡

ショートメールにお名前とベビーの月齢を送信折り返し連絡

受渡し：(那覇市民) 那覇社協さん又は母子会さんでの直接のお渡し

(その他)各市町村担当課・各社協・母子会へ直接のお届け

来所 が困難な方は個別配達相談可能

令和3年9月3日 (金)

共育ステーションつむぎ

代表 高良 久美子